

# ふき取り検査による細菌数の検出(手)

概要：手(片手分)をふき取り検査用綿棒でふき取りを行い、**rapisco**で手洗いの前後の生菌数を比較した。

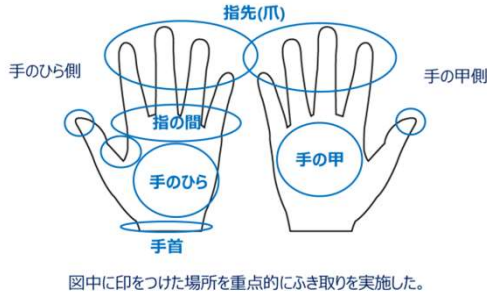


図:ふき取り箇所



写真:ふき取りの様子

## 検出手順

- ①ふき取り後の溶液の回収
- ②前処理フィルターでの処理(ふき取り綿棒の繊維除去のため)
- ③検出用メンブレンフィルターにろ過
- ④生菌染色試薬で染色(35℃、10分間)
- ⑤**rapisco**で撮影、自動検出

## 検出結果

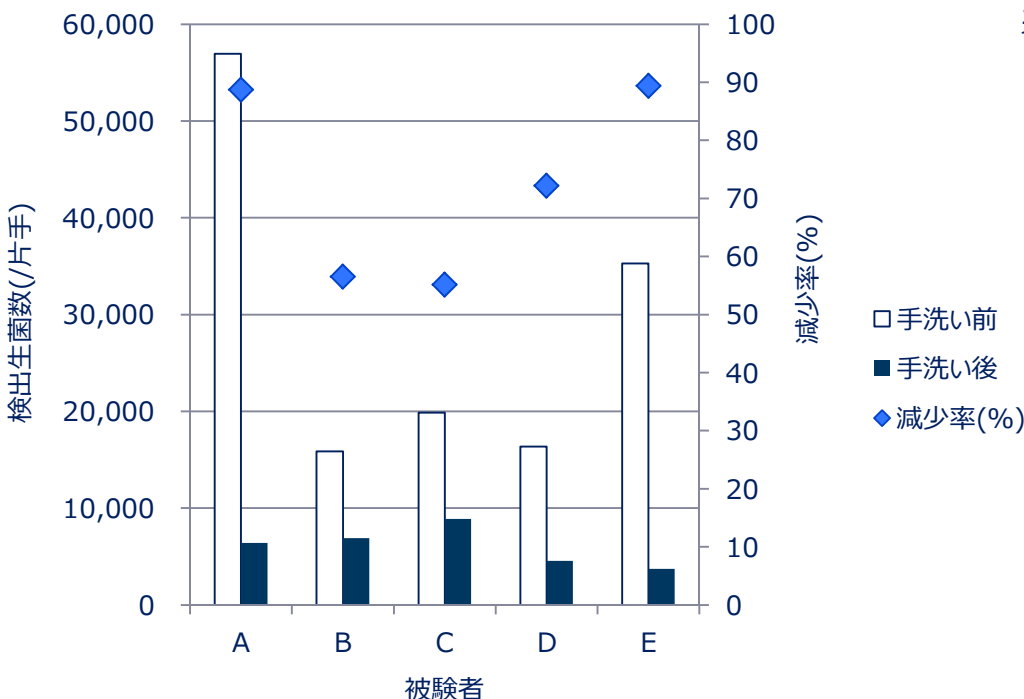


表:手洗い後の生菌の減少率

被験者	減少率(%)
A	88.7
B	56.6
C	55.2
D	72.2
E	89.4

手洗いによる手の細菌数の減少率は、55~89%だった。

# ふき取り検査による細菌数の検出(施設)

概要：施設内の設備をふき取り検査用綿棒でふき取りを行い、**rapisco**で殺菌剤処理\*の前後の生菌数を比較した。

\*殺菌剤処理は次亜塩素酸水を用いた

## ふき取り箇所

- ①玄関扉取手(外側)、②室内扉取手、③受付台



写真:ふき取り箇所①



写真:ふき取り箇所②



写真:ふき取り箇所③

## 検出手順

- ①ふき取り後の溶液の回収
- ②前処理フィルターでの処理(ふき取り綿棒の繊維除去のため)
- ③検出用メンブレンフィルターにろ過
- ④生菌染色試薬で染色(35°C、10分間)
- ⑤**rapisco**で撮影、自動検出

## 検出結果

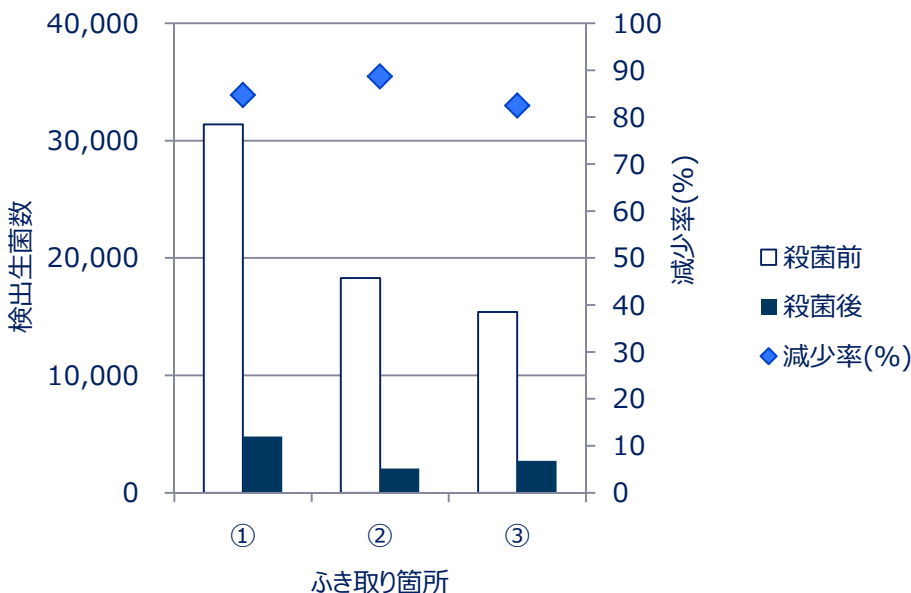


表:殺菌剤処理後の生菌の減少率

ふき取り箇所	減少率(%)
①	84.7
②	88.7
③	82.4

殺菌処理によって、生菌数80%以上の減少を確認した。